

薩摩川内市
道路脱炭素化推進計画

令和8年3月

薩摩川内市

目次

はじめに	3
1. 道路の脱炭素化の目標	4
1.1 「道路管理分野」の目標	4
1.1.1 「道路管理分野」全体のCO ₂ 排出量	4
1.1.2 「道路管理分野」全体のCO ₂ 削減目標	4
1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎のCO ₂ 削減目標	4
2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項...	5
2.1 道路管理分野	5
2.1.1 道路関係車両の電動化	5
2.1.2 道路照明のLED化	5
2.1.3 再生可能エネルギー活用	5
2.2 ロードマップ	6

はじめに

本市は、2021年に「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を行い、2050年のカーボンニュートラル実現に向け取り組みを進めています。また、全国初となる火力発電所跡地を活用した資源循環拠点「サーキュラーパーク九州構想」のもと、資源循環に資する産学官金の連携強化や関連産業の誘致に取り組んでおり、人と資源と経済が循環するまち「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、各種施策を推進しています。こうした目標を達成するためには、市民生活や経済活動の基盤である道路行政においても、建設・維持管理・利用の各フェーズにおける脱炭素化と資源循環を最優先課題として取り組む必要があります。

本計画は、道路工事に伴う廃材の高度な再資源化や、今後同拠点で創出が期待される低炭素資材などの新技術活用を推進するなど、資材調達から維持管理に至るライフサイクル全体でのCO₂削減を図ります。また、国が整備を進める「南九州西回り自動車道」や、本市が早期実現を要望している「川内宮之城道路」などの広域交通ネットワークの構築により、主要路線の渋滞緩和による走行車両からの排出抑制を図るとともに、主要拠点間の安定走行による物流効率化を強力に支援してまいります。これら本市独自の取り組みと広域的な道路施策が一体的に推進されることで、持続可能な道路インフラ環境を構築していく方針です。

なお本計画は、脱炭素化に係る技術革新や国の政策動向、本市の状況変化、民間企業の取り組み等に応じて、適宜内容を見直すものとします。

1. 道路の脱炭素化の目標

1.1 「道路管理分野」の目標

1.1.1 「道路管理分野」全体の CO₂ 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO₂ 排出量を示す。

表 1 道路管理分野における CO₂ 排出量

区分	CO ₂ 排出量
	2013 年度（基準年度）
1. 道路関係車両からの CO ₂ 排出量	5t
2. 道路照明灯の電力消費による CO ₂ 排出量	132t
3. 道路設備・施設の電力消費による CO ₂ 排出量	162t
計	299t

1.1.2 「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は以下のとおり。

表 2 道路管理分野における CO₂ 削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO ₂ 目標削減率	46%	73%
CO ₂ 目標削減量	138t/年	218t/年

1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎の CO₂ 削減目標

「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標達成に向けて、「道路関係車両の電動化」、「道路照明灯の LED 化」、「再生可能エネルギー活用」により、2013 年度比でそれぞれ 2040 年度までに以下の通り CO₂ 削減する。

表 3 取組の実施による CO₂ 削減量

取組内容	各取組の整備指標			CO ₂ 削減量	
	2013 年度 (基準年度)	2030 年 度	2040 年 度	2030 年 度	2040 年 度
1. 道路関係車両の 電動化	0%	80%	100%	1 t/年	1 t/年
2. 道路照明灯の LED 化	9%	80%	100%	100 t/年	130 t/年
3. 再生可能 エネルギー活用	0%	55%	65%	127 t/年	139 t/年
計				228 t/年	270 t/年

2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

2.1 道路管理分野

道路管理分野のCO₂削減目標達成のための取組は、以下のとおりである。

2.1.1 道路関係車両の電動車化

(2030年度までの取組)

2030年度までにパトロールカーのうち、80%の電動車化を進める。

(2040年度までの取組)

2040年度までにパトロールカーのうち、100%の電動車化を進める。

表4 道路関係車両の電動車化

対象車種	2013年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
パトロールカー	0%	80%	100%

2.1.2 道路照明のLED化

(2030年度までの取組)

2030年度までに道路照明灯の80%をLED化する。

(2040年度までの取組)

2040年度までに道路照明灯の100%をLED化する。

表5 道路照明灯のLED化率

取組内容	2013年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
道路照明灯LED化	9%	80%	100%

2.1.3 再生可能エネルギー活用

(2030年度までの取組)

2030年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を55%にする。

(2040年度までの取組)

2040年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を65%にする。

表6 調達電力の再生可能エネルギー比率

2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
0%	55%	65%

2.2 ロードマップ

2.1 に記載した取組の実施時期をロードマップとして示す。

表 8 薩摩川内市の脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2026 年度	2027 年度	~2030 年度	~2040 年度	
道路管理分野	道路関係車両の電動化	導入計画検討		試行導入・検証	本格導入	
	道路照明灯の LED 化	LED 道路照明への交換・導入			センサー照明の導入検討	センサー照明の導入
	再生可能エネルギー活用	再エネ電源調達検討		再エネ電力調達への移行		